



元気おとよ新聞

2014年1月1日発行 No.4

○ ホームページ: <http://www.genki-otoyo.org/>
○ ご意見ご感想は、info@genki-otoyo.org まで

2014 新年号



みんなで話そう 第二回 元気おとよ座談会 開催しました!

テーマは「集落」

昨年十一月二十三日(土)に開催されました第二回座談会は、二十一名の方々に参加いただき、四つのグループに別れて、①集落の現状をどう思うか、②集落維持のためには何が必要か、について話し合われました。

集落の現状を憂い、このままでは集落維持が出来ないと危機感を持たれ、なんとかしたいという強い思いがひしひしと伝わって来ました。どのグループにも共通して挙げられた問題点は、①活動人口が少なすぎて道役や行事をするにも限界が来ている ②世代間交流がなく、お年寄りの生きがいや文化の継承ができていない ③娯楽施設が足りない などです。①の問題については、移住者を増やすという明確な解決策がありますが、これについては空家や農地の問題など、町全体で受け入れる体制づくりが必要だと考えられます。②や③については、とにかく人が集まれる場所・機会を作るしかありません。町内の遊休施設や集会場の更なる活用方法を考える必要があると思います。これらを具体的に形にしていくなために、更に掘り下げた議論をすべく「集落」についての座談

要素だったものが、プラスに転じる可能性も大きくあります。そのためには発想の転換とやる気、そして仲間が必要だと私は考えています。「集落」というテーマは大豊町に住む私たちにとって、最も身近で重要な事柄だと思いますので、多くの方に少しでも関心を持っていただき、是非ムーブメントを起こして頂きたいと思えます。(野田由美子)

会 第二弾」の開催も計画中です。かつての繁栄から急激に衰退し、半ば諦めムードが漂うわが町ですが、時代は移り変わり新たな価値観が生まれていることはまちがいありません。今まではマイナス



ほぼ満員御礼 パソコン教室

昨年十月十五日から計十回にわたり「元気おとよパソコン教室」が開催されました。

ご参加いただいた十六名の皆さんの意欲は大変高く、毎回ほぼ満席状態で教室は進行しました。

今回の募集対象はパソコン初心者、大半はパソコンを初めて触る方か、あるいはパソコンを触ったことはあるけどもう一度基礎からやってみようという方々でした。募集定員に対して倍近い方々からお申込みをいただき、改めてパソコンへの関心の高さを感じました。

教室では、パソコンの電源を入れるところから少しずつ高度な内容に取り組み、最後には各々がワープロソフトで文章をつくり、書面を作成するところまで到達して

いただきました。中でも難関と言われるキーボードでのローマ字打ちにたつぷりと時間をかけ、すべての指を使って正しいキーを打つことを目標に反復練習を繰り返しました。厳しい練習の甲斐あって、多くの方がキーボードの使い方に慣れることができたのではないかと思います。

パソコンは教室で習うだけではなく、生活のいろいろな場面でも活用してこそ楽しさが広がります。今回、初めてパソコンを触ったという方がご自宅にもパソコンを設置され、自分の楽しみの中でさらにスキルアップされていくことを期待しています。

また、元気おとよでは「大豊町民のITスキル向上」に向けて今後もパソコン教室を開催していく予定です。

次の開催が決まり次第、広報等を通じてインフォメ



旧穴内小学校の教室で行われたパソコン教室の様子
皆さん大変熱心に受講されていました。

ーションします。また多くの方に参加いただければ幸いです。(太田正弘)

第四回 ラミィキ ユープ大会結果

二〇一三年十二月八日(日)、川口体育館で第四回ラミィキユープ大会が開催されました。上位の結果を発表します。

- 一位 中西広香さん(写真左)
- 二位 太田正吾くん(中央)
- 三位 前田菜さん(右)



中西さんは八戦全勝の快挙(予選決勝戦とも)おめでとうございます!!!
ラミィキユープのみならず次回の優勝目指して頑張ってください!! (杉本和也)

裏面もぜひご覧下さい

「存知ですか？」 元気おおとよミニシアター



画がありま
したらお気
軽にお立ち
寄りいただ
けたらと思
っております。
お知らせ
はゆとりず
と放送、道
駅などの施
設、元気お
おとよのフ
ェイスブック

ページにて行っており、リク
エストも受け付けておりま
す。今後とも元気おおとよミ
ニシアターをよろしくお願
い致します。(猪野大助)

コラム

冬のソナタ (冬)

突然の写真と題の「冬のヒ
マワリ」の関係説明は次号に
回すとして、ちよつとした優
れものを紹介させていただ
きます。すでに知っていたり
使用している方もいるかも
しれませんが、私が初めてお
目にかかったのは、平成二十
五年の十一月、県西部の農家
民宿、台所の横の広間に灯油
用のストーブとコタツをつ
なぐように置かれていたの

がこの器具。大きな蛇がス
トープに向かって鎌首を持ち
上げ口をあけているように
見えました。



民宿の主人にたずねると、
ストーブから出る熱風をコ
タツの中に送り込むパイプ

とのこと。購入した所は近く
のホームセンターとのこと
で、帰り道さつそく高知市内
のホームセンターに問い合
わせてみました。ある特定の
ホームセンターでしか売っ
ていないようで購入するま
でに数日かかりましたが、価
格(二千元かかりません)の
割には優れたものだといふこ
とを使用して再認識しまし
た。普通の寒さにはストーブ
かコタツなどのどちらかで
十分ですが、寒さの厳しい時
には両方をほしい時があり
ます。特に我々高齢の者にと
っては、体と足両方を温かく
できるのは助かります。単純
に言えば、ひとつのエネルギー
(この場合は灯油)でふた
つの器具を作動することが
できるということで、価格も
含めて、一挙兩得、一石二鳥
そして、器具の案内パンフレ
ットにも書いているように
CO2の削減ひいては地球
温暖化の改善につながるの
ではないかと、周囲に勧めな
がらありますがたく使っている
ところでは、

器具には次のような性能が
あります。

- 直径十センチ、伸縮自在で
最大二メートル七〇センチ
まで伸ばすことができるよ
うです。
- 曲げることも可能で、添付
の支え台でストーブの熱風
の出ている場所に合わせる
ことができます。

○熱風の量を加減できる器具
を別売りしているようです

が、熱くなった場合は、支え
台を動かすことで調整でき
ます。器具自体も熱くなりま
すので畳との間に板などを
はさむといいでしょう。

熱風コタツで温まりなが
らテレビを見ていると、NH
Kの「クローズアップ現代」
で「カメムシ大発生」の特集
愛媛県のカミカンの収穫が例
年の三割、ひどい所では一割
という被害などが取り上げ
られていました。そう言えば
私の身の周りでも例年にな
くカメムシに煩わされたこ
とでした。ホウレンソウも虫
にやられてしまいました。厳
しかった夏の暑さ思い出し
ながらミカン農家のインタ
ビューに聞き入っていました。
次号へ・鄙(ひな)

編集後記

元気おおとよ新聞 新年号
いかがでしたでしょうか。
私たち「おの」法人元気おおと
よは、二〇一一年に準備会
の活動を始めてから二年、法
人として認定されてからは
一年と四ヶ月が経ちました。
隔週で開催してきた定例会
も五十回を超え、活動の幅も
少しずつ大きくなってきた
ように思います。

法人組織としての安定し
た収益事業はまだありませ
んが、少しずつでも着実に前
に進んでいるという実感が
あります。それは、「大豊町

を元気に！」という合い言葉
のもとで、老若男女を問わず
様々な年代の人々と一緒に
楽しい時間を過ごす回数が増
えてきているからです。

昨年二〇一三年は、「大豊の
森林を考える座談会」から始
まり、清掃活動やファミリー
ラフティングを実施しまし
た。町内外の子供たちが集ま
るラミィキューブ大会は三
ヶ月に一回の恒例イベント
になりました。パソコン教室
やミニシアターは旧穴内小
学校が活動拠点になったこ
とで実現した事業です。先月
十二月の集落を考える座談
会では、町内に暮らす若者と
年配者が活発に議論を交わ
す姿がとても印象的でした。

さて、今年の元気おおとよは
皆さんとどんな楽しいこと
をしようか、今からワクワク
しています。

何かイベントを行う場合は、
回覧やゆとりずと放送、ポス
ターなどでお知らせするこ
とが多いです。インターネッ
トではフェイスブックやホ
ームページをお見逃しな
く！
今年もぜひ、元気おおとよに
ご注目ください。(事務局・
太田)